

令和 7 年 10 月 2 日

水稻作況調査（成熟期調査、収量関係調査等）

（地独）青森県産業技術センター農林総合研究所

収量調査

品種名	全重 (kg/a)				わら重 (kg/a)			
	本年	平年	平年比	前年	本年	平年	平年比	前年
青天の霹靂	151.9	161.0	94	164.3	74.1	79.1	94	75.3
はれわたり	174.0	170.7	102	166.5	81.8	81.5	100	78.3
まっしぐら	183.9	170.6	108	167.4	86.7	77.5	112	74.9

品種名	精粳重 (kg/a)				しいな重 (kg/a)			
	本年	平年	平年比	前年	本年	平年	平年比	前年
青天の霹靂	74.4	75.1	99	75.1	0.5	0.2	250	0.4
はれわたり	87.2	81.2	107	81.2	0.6	0.5	120	0.6
まっしぐら	90.3	84.6	107	86.6	1.1	0.8	138	0.8

品種名	粗玄米重 (kg/a)				屑米重 (kg/a)			
	本年	平年	平年比	前年	本年	平年	平年比	前年
青天の霹靂	58.6	60.9	96	67.5	2.1	2.4	88	3.2
はれわたり	65.2	65.6	99	66.5	2.1	2.8	75	3.2
まっしぐら	68.6	68.3	100	70.1	2.4	2.3	104	3.5

品種名	精玄米重 (kg/a)				玄米千粒重 (g)			
	本年	平年	平年比	前年	本年	平年	平年比	前年
青天の霹靂	56.5	58.6	96	64.3	22.8	22.8	100	22.7
はれわたり	63.1	62.9	100	63.4	22.9	22.5	102	22.0
まっしぐら	66.2	66.0	100	66.6	23.2	23.0	101	22.5

注 1) 農林総合研究所（黒石）の作況試験のデータ。

2) 耕種概要 播種日：4 月 15 日、移植日：5 月 20 日（4 本手植え）、栽植密度：21.2 株/m²

施肥 (kg/a)：「はれわたり」0.5+0.2（追肥日 7/11、幼穂形成期 8 日後）

「まっしぐら」0.5+0.2（追肥日 7/11、幼穂形成期 7 日後）

「青天の霹靂」0.35+0（追肥なし）

3) 平年値は、「青天の霹靂」が 2015 年以降（10 か年）の平均値、「はれわたり」が 2021 年以降（4 か年）の平均値、「まっしぐら」が 2007 年～2008 年および 2011 年以降（16 か年）の平均値。

4) 精玄米重及び玄米千粒重は、粗玄米を 1.9mm のふるいで選別した値。

【概況】

「青天の霹靂」は、全重及びわら重は平年より軽く、精玄米重は平年比 96%とやや軽かった。また、玄米千粒重は平年並みだった。

「はれわたり」は、全重及びわら重は平年並み、精玄米重は平年比 100%と並みであった。また、玄米千粒重は平年並みだった。

「まっしぐら」は、全重及びわら重が平年より重く、精玄米重は平年比 100%と並みであった。また、玄米千粒重は平年並みだった。

令和7年10月2日

水稻作況調査（成熟期調査、収量関係調査等）

（地独）青森県産業技術センター農林総合研究所

登熟調査

品種名	株当たり穂数（本）				㎡当たり穂数（本）			
	本年	平年	平年比	前年	本年	平年	平年比	前年
青天の霹靂	17.8	19.6	91	21.0	378	415	91	446
はれわたり	19.9	20.8	96	21.6	423	441	96	458
まっしぐら	20.9	21.2	99	22.1	443	449	99	469

品種名	1穂籾数（粒）				㎡当たり籾数（×100粒）			
	本年	平年	平年比	前年	本年	平年	平年比	前年
青天の霹靂	69.8	66.4	105	67.2	263	276	95	300
はれわたり	75.0	72.5	103	70.7	317	319	99	324
まっしぐら	70.4	72.9	97	69.7	312	327	95	327

品種名	有効茎歩合（%）				枝梗別籾数割合（%）			
					1次枝梗		2次枝梗	
	本年	平年	平年差	前年	本年	前年	本年	前年
青天の霹靂	72.4	69.9	+2.5	75.2	59.6	65.2	40.4	34.8
はれわたり	76.7	69.4	+7.3	65.4	61.4	72.0	38.6	28.0
まっしぐら	72.3	66.9	+5.4	69.6	56.4	63.6	43.6	36.4

品種名	登熟歩合（%）							
	1次枝梗 + 2次枝梗				1次枝梗		2次枝梗	
	本年	平年	平年差	前年	本年	前年	本年	前年
青天の霹靂	94.8	93.1	+1.7	93.1	95.8	95.7	90.7	88.5
はれわたり	86.8	88.0	-1.2	90.4	91.8	93.2	79.3	83.2
まっしぐら	91.4	88.3	+3.1	90.5	94.0	92.7	87.9	86.6

品種名	不稔歩合（%）							
	1次枝梗 + 2次枝梗				1次枝梗		2次枝梗	
	本年	平年	平年差	前年	本年	前年	本年	前年
青天の霹靂	3.5	3.4	+0.1	3.1	2.9	2.9	4.7	4.2
はれわたり	5.4	3.8	+1.6	2.7	4.3	2.5	7.1	4.3
まっしぐら	4.0	3.4	+0.6	3.8	3.5	3.4	4.6	4.3

注1) 農林総合研究所（黒石）の作況試験のデータ。

2) 耕種概要 播種日：4月15日、移植日：5月20日（4本手植え）、栽植密度：21.2株/㎡

施肥（kg/a）：「はれわたり」0.5+0.2（追肥日7/11、幼穂形成期8日後）

「まっしぐら」0.5+0.2（追肥日7/11、幼穂形成期7日後）

「青天の霹靂」0.35+0（追肥なし）

3) 平年値は、「青天の霹靂」が2015年以降（10か年）の平均値、「はれわたり」が2021年以降（4か年）の平均値、「まっしぐら」が2007年～2008年および2011年以降（16か年）の平均値。

【概況】

「青天の霹靂」は、1穂籾数が平年比105%とやや多かったが、㎡当たり穂数が同91%と少なかったことから、㎡当たり籾数は同95%と少なかった。登熟歩合（1次枝梗+2次枝梗、以下同様）は94.8%で平年を1.7ポイント上回った。

「はれわたり」は、1穂籾数が平年比103%とやや多かったが、㎡当たり穂数が同96%とやや少なかったことから、㎡当たり籾数は同99%と平年並みだった。登熟歩合は86.8%で平年を

令和7年10月2日

水稻作況調査（成熟期調査、収量関係調査等）

（地独）青森県産業技術センター農林総合研究所

1.2 ポイント下回った。

「まっしぐら」は、1 穂籾数が平年比 97%とやや少なかったが、 m^2 当たり穂数が同 99%と平年並み、 m^2 当たり籾数は同 95%とやや少なかった。登熟歩合は 91.4%で平年を 3.1 ポイント上回った。

令和7年10月2日

水稻作況調査（成熟期調査、収量関係調査等）

（地独）青森県産業技術センター農林総合研究所

粒厚分布調査

品種名	年次	玄米粒厚別重量歩合 (%)						
		～2.2	2.1	2.0	1.9	1.8	1.7	1.6～
青天の霹靂	本年	5.5	54.4	27.9	8.7	2.3	0.8	0.5
	平年	9.6	47.3	29.1	10.2	2.5	0.9	0.4
	前年	4.5	44.9	34.3	11.6	3.0	1.1	0.7
はれわたり	本年	10.4	56.4	23.3	6.8	1.8	0.7	0.7
	平年	13.2	48.2	25.9	8.6	2.5	0.9	0.8
	前年	5.8	46.7	32.0	10.7	2.9	1.0	0.9
まっしぐら	本年	6.9	52.4	29.5	7.7	1.9	0.8	0.8
	平年	11.6	47.9	28.4	8.5	2.0	0.8	0.7
	前年	3.9	44.7	34.7	11.6	2.8	1.1	1.1

品種名	年次	重量歩合 (%)
		1.9mm 以上
青天の霹靂	本年	96.5
	平年	96.2
	前年	95.3
はれわたり	本年	96.9
	平年	95.8
	前年	95.2
まっしぐら	本年	96.5
	平年	96.5
	前年	94.9

注1) 農林総合研究所（黒石）の作況試験のデータ。

- 2) 耕種概要 播種日：4月15日、移植日：5月20日（4本手植え）、栽植密度：21.2株/m²
施肥（kg/a）：「はれわたり」0.5+0.2（追肥日7/11、幼穂形成期8日後）
「まっしぐら」0.5+0.2（追肥日7/11、幼穂形成期7日後）
「青天の霹靂」0.35+0（追肥なし）

- 3) 平年値は、「青天の霹靂」が2015年以降（10か年）の平均値、「はれわたり」が2021年以降（4か年）の平均値、「まっしぐら」が2007年～2008年および2011年以降（16か年）の平均値。

【概況】

粒厚別重量歩合のピークは、「青天の霹靂」、「はれわたり」及び「まっしぐら」とも2.1mmであり、平年を上回った。1.9mm以上の重量歩合は平年並～平年を上回った。

令和7年10月2日

水稻作況調査（成熟期調査、収量関係調査等）

（地独）青森県産業技術センター農林総合研究所

節間長調査

品種名	年次	生育調査区		節 間 長				
		稈長 (cm)	穂長 (cm)	第1 (cm)	第2 (cm)	第3 (cm)	第4 (cm)	第5 (cm)
青天の霹靂	本年	80.8	19.5	35.1	19.2	16.0	8.9	1.4
	平年	80.9	18.0	31.7	18.4	16.8	11.5	2.6
	前年	91.1	19.1	33.6	19.7	20.9	13.4	3.5
はれわたり	本年	91.9	18.5	36.5	19.5	18.8	12.7	4.7
	平年	88.8	16.8	33.2	19.5	19.3	13.5	3.4
	前年	95.1	16.8	32.9	20.1	23.4	15.2	3.8
まっしぐら	本年	84.0	18.4	37.3	19.5	15.9	9.5	2.0
	平年	80.8	17.2	33.2	19.4	15.5	10.8	2.1
	前年	89.5	17.0	33.1	20.2	20.4	12.3	3.6

注1) 農林総合研究所（黒石）の作況試験のデータ。

- 2) 耕種概要 播種日：4月15日、移植日：5月20日（4本手植え）、栽植密度：21.2株/m²
施肥（kg/a）：「はれわたり」0.5+0.2（追肥日7/11、幼穂形成期8日後）
「まっしぐら」0.5+0.2（追肥日7/11、幼穂形成期7日後）
「青天の霹靂」0.35+0（追肥なし）

- 3) 平年値は、「青天の霹靂」が2015年以降（10か年）の平均値、「はれわたり」が2021年以降（4か年）の平均値、「まっしぐら」が2007年～2008年および2011年以降（16か年）の平均値。

【概況】

「青天の霹靂」は、稈長が平年より0.1cm短く、穂長は1.5cm長かった。節間長は第1節間が平年より長く、第4及び第5節間は平年より短かった。

「はれわたり」は、稈長が平年より3.1cm長く、穂長は1.7cm長かった。節間長は第1及び第5節間が平年より長かった。

「まっしぐら」は、稈長が平年より3.2cm長く、穂長は1.2cm長かった。節間長は第1節間が平年より長く、第4節間は平年より短かった。